

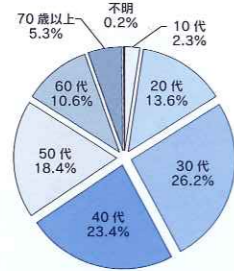
連合群馬2010年 県民意識調査 11,770名が協力!

1月から4月にかけて、構成組織・議員懇談会・関係団体・県民の皆さんの協力をいただき意識調査を実施しました。今年は、全体で11,770名分(組織内:5,162名、組織外:6,608名)を回収することができました。ご協力いただいた方に感謝申し上げます。

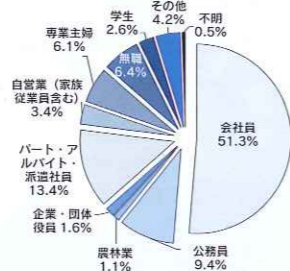
今後分析し、結果については2011年度の政策提言に反映させることとし、今回は、速報値としてお知らせします。

フェースシート

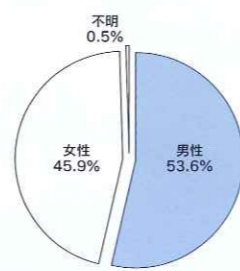
【年齢区分】



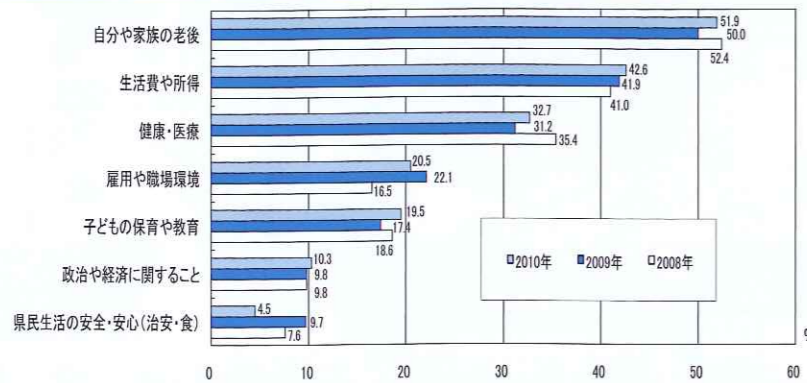
【職業区分】



【男女比率】



心配事・困り事・関心事はなんですか?【2つ選択】

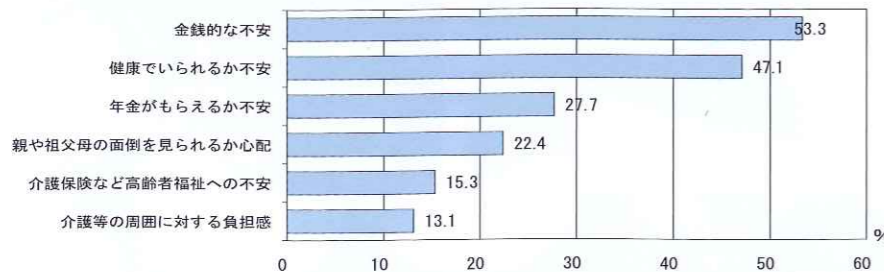


3年間の比較

「自分や家族の老後」が最も高く「生活費や所得」が続く。景気は回復基調にあると言われるが、調査結果では、景気や雇用等、先行きに対する不安が依然多いことが読み取れる。

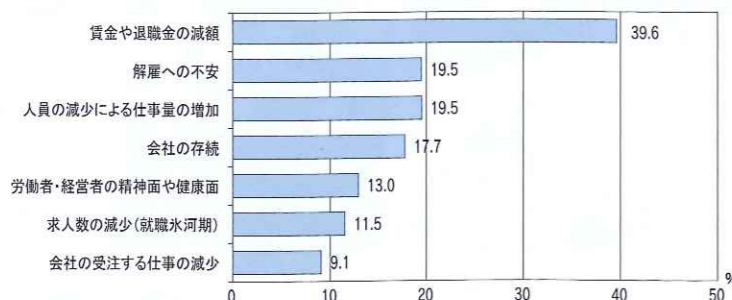


自分や家族の老後に関する不安・心配事は?【2つ選択】



高齢社会を迎える中、福祉社会保障費への支出増が見込まれ、「金銭」や「健康」、「年金」への不安・心配が高く、「親や祖父母の面倒が見られるか不安」等、先行きに関する不安が読み取れる。

雇用・労働に関する不安はどんな事ですか?【2つ選択】

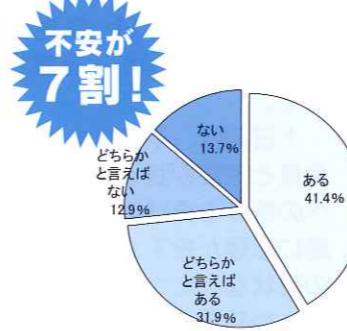


賃金や将来の退職金への不安が約4割と高く、解雇等による仕事量の増加が読み取れる。また、年代では「40代」が解雇への不安を持っている。



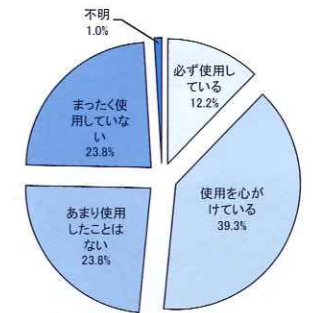
雇用・労働に対する不安はありますか?【1つ選択】

「ある」(41.4%)と「どちらかと言えばある」(31.9%)を足すと7割を超えており高い値を示している。昨年(9割)よりは減少したものの依然高い値である。

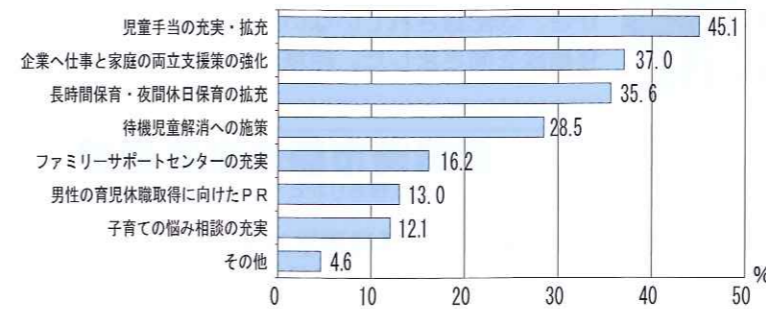


エコバッグ・カゴを使用していますか?【1つ選択】

「必ず使用している」と「使用を心がけている」の値が51.5%となり、「あまり使用したことはない」と「まったく使用していない」の値が47.6%で「する」と「しない」が2分割されている。



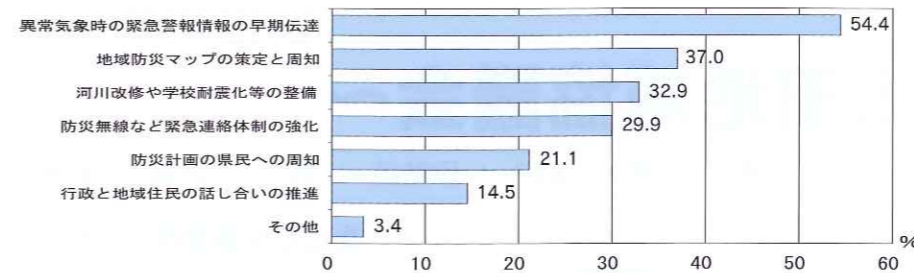
子育てをする上で行政に強化して欲しい施策は?【2つ選択】



両親が共に働く労働者が増加しており、多様化する勤務時間のため、夜間休日保育や長時間保育を望む声が高い。児童手当の充実が「30代」の子育て世代が高く、「50代・60代」は、企業への両立支援策強化を望む声が高い。



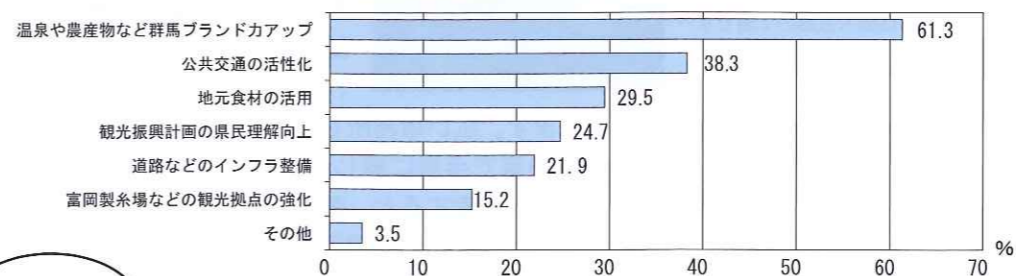
災害に備えた行政施策は何かが必要と感じますか?【2つ選択】



災害情報の早期伝達を求める声が高く、自然災害が比較的少ない地域柄ではあるが、各地で発生している竜巻や大雨の発生など、災害に備えた施策を望む声が高い結果となる。



群馬の観光振興について何が必要と考えますか?【2つ選択】



観光振興については、群馬のブランドカアップを望む声が高く、公共交通に関する声も高い結果となる。

どなたでも参加できます!

~政策フォーラム開催のお知らせ~

- 日時: 2010年7月24日(土)9:30~12:00 (9:10受付開始)
- 場所: 高崎市総合福祉センター たまごホール(高崎市末広町115-1 TEL:027-370-8822)
- 内容: 2010年県民意識調査結果報告、2011年度政策制度要求と提言の考え方
講演/群馬のイメージアップについて(仮題) 講演者/ぐんま総合情報センター所長 宮崎 信雄氏
説明/群馬DCの取り組み(仮題) 講師/群馬県DCキャンペーン推進室長 向田 忠正氏
* DCキャンペーンとは...大型観光キャンペーンのことを呼ぶ。Destination(行く先、目的地)と Campaign(宣伝)の合成語。2011年7~9月に開催される。

2010年度県民意識調査結果、政策フォーラムに関するお問い合わせは連合群馬(担当/小川まで)TEL027-263-0555